

DX時代における過去トラの蓄積と利活用の進化



山本 貴裕 (ブラザー工業(株))

西村 栄昭 (ブラザー工業(株))



伊藤 康宏 (アビームシステムズ(株))

山中 誠二 (テービーテック(株))

杉江 豊 (トヨタ自動車(株))

小林 雄二 (AAC(株))

陳 君維 ((株)ジェイテクト)

発表者: 山本 貴裕



■ テーマ背景 (Why?)

過去トラ (トラブル) は、トラブルの未然防止や早期解決につながる価値あるモノと認識され、製造業界でもIT化が進められてきました。

しかしながら、過去トラを十分に利活用できていると感じている企業は少なく、多くの手間をかけたが、システムが使われなくなったという事例も少なくありません。



どんどん貯まる
過去トラ



利活用したくなる
システム

■ 目指す姿 (Goal)

DX時代だからこそ実現できる過去トラを中心としたさまざまな変革と新しい価値創出の実現を目指します！





コンシューマー

忙しい 面倒くさい 文章で表現が難しい

登録する頃には覚えていない

登録すべき内容が分からない

登録ルールが複雑で操作が手間

登録すると何か得するの？ ボランティアなの？

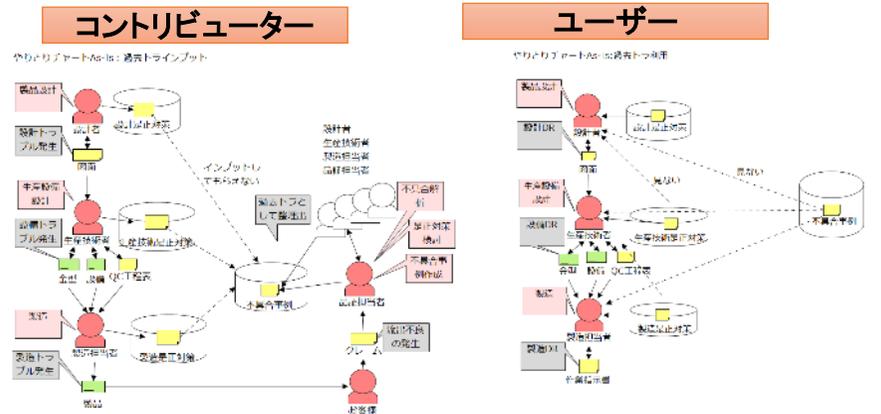
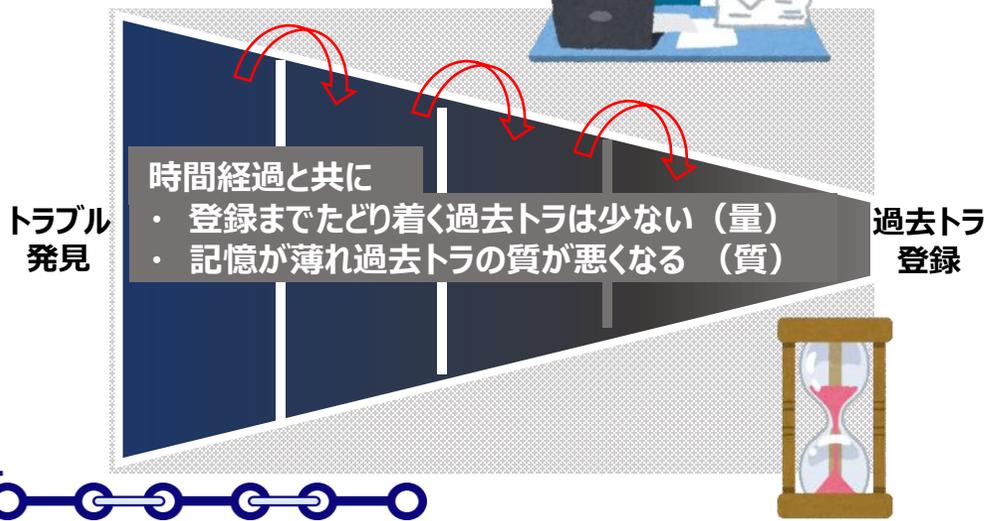
ユーザー

ほしい分野に限って情報が少ない 適切な検索キーがわからない

ほしい情報がヒットしない

過去トラにある対策の信頼性がわからない

Not found





いつでも、どこでも、簡単に



コントリビューター

何でも、誰でも、瞬時に



ユーザー

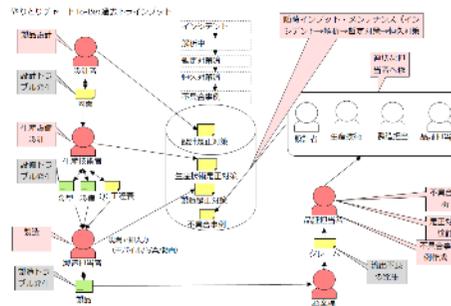
問題登録 → 改善対応 → 対策完了 → 過去トラ

トラブル
発見・登録

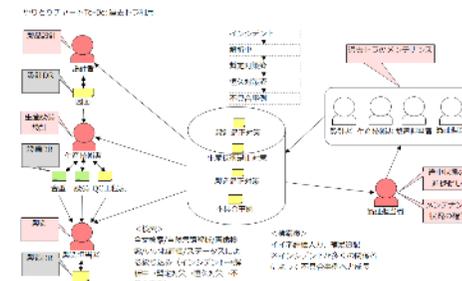
トラブル発見時から速やかに登録し、

- ・ モレなく問題管理ができる
- ・ モレなく過去トラを蓄積できる
- ・ 新鮮な情報によって過去トラの質も良くなる

コントリビューター



ユーザー





デジタル (D) でトランスフォーム (X)
スマートデバイス活用で

- ・「負荷なく」「前向きに」(マインド変革)
- ・「モレなく」「質も良く」(情報変革)

問題管理、過去トラ蓄積ができるようになる

新たな価値

デジタル (D) でトランスフォーム (X)
先進技術の活用で

- ・「前工程に感謝」「自分で対応」(マインド変革)
- ・「人、部署を選ばない」(業務変革)

過去トラ利活用の活性化により、早期解決が促進





■ 活動のポイント

- IVIで実装し、中部品質管理協会にて検証といった役割分担で活動
- レガシーデータ（過去トラ）もマージして活用を想定
- ソリューションはジェイテクト製の「スキルアップNavi」を活用